

ヘルメット取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。読まれた後は大切に保管し必要に応じてご活用ください。

《警告表示》

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったりケガをしたり製品がこわれるなどの恐れがあります。



警告

この表示の欄は取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が懸念される」内容です。



注意

この表示の欄は取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が懸念される」内容です。



警告

- このヘルメットは成人用の自転車用に設計されているため、その用途でのみ使用してください。用途及び使用年齢範囲にあったヘルメットを着用してください。特に、原動機付自転車及び自動二輪車に乗車する際には絶対に使用しないでください。
- 公園の遊具等で遊ぶときはご使用にならないでください。
- 頭のサイズによく合ったヘルメットを着用してください。
- ダイヤルアジャストシステムはヘルメットのズレやブレをおさえるための調整機構です。取り扱い方をよくお読みになってヘルメットを頭にフィットさせてください。
- あごひもは、取り扱い方をよくお読みになって調整をしてください。
あごひもを締めなかったり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などにヘルメットが脱げてしまい、頭を守ることができずに非常に危険です。あごひもは必ずしっかりと締めてください。
- ヘルメットが水平になるように着用し、あみだ、斜めにかぶらないでください。
- アジャスタバンドをつかんで持ち運ばないでください。
アジャスタバンドは取り外さないでください。
- 落下させたり、事故や転倒で大きな衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。
一度大きな衝撃を受けたヘルメットは、外見に損傷がなくても同じ箇所に再度衝撃が加わりますと衝撃を吸収しきれないことがありますので絶対に使用しないでください。保管場所も落下のおそれのない、平らな場所を選びましょう。



注意

- ヘルメットの改造、分解、ペイントは絶対にしないでください。ヘルメットに穴をあけたり、削ったり、あごひもを改造したりすると、ヘルメットの本来の性能が発揮できずに非常に危険です。
また、塗料や熱の影響により材質が侵され衝撃吸収力が低下するおそれがありますので、ペイントなどは絶対にしないでください。
- ヘルメットのお手入れは、水または薄めた中性洗剤でふき取ってください。ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯、塩水などは絶対に使用しないでください。
- ヘルメットは大切に取り扱いってください。ヘルメットを地面に放り投げたり、ヘルメットの上に座ったりしないでください。また、乗車時の頭の保護以外の目的には使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所に長時間放置しないでください。熱の影響により材質が侵され衝撃吸収力が低下するおそれがあります。50度以上の環境下(熱湯、高温)では使用しないでください。
- 雨や雪などでヘルメットが濡れてしまった場合は、そのまま放置せず乾いた布で拭き取ってから陰干しを行い、しっかり乾燥してから保管してください。
- ヘルメットの有効期限は「購入後3年間」です。正常に使って異常が認められなくてもご購入後3年以内に買い換えてください。

《ヘルメットの正しい着用方法》

ヘルメットが水平になるように着用してください。ヘルメットの先端がまゆ毛のすぐ上にこない場合は正しく着用できていません。



《ダイヤルアジャストシステムの調整方法》

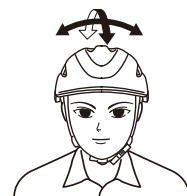
ダイヤルアジャストシステムのダイヤルを左右に回して、ヘルメットを頭にフィットさせてください。



注意

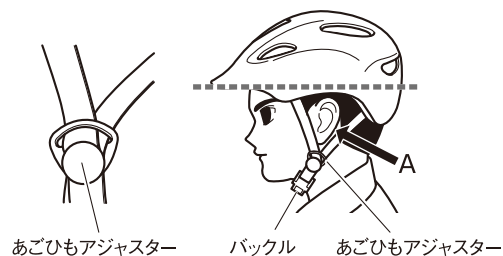
調整する際は、毛髪や皮膚等を挟まないように注意してください。

ヘルメットを前後左右に動かして容易にずれたりすることがないように、頭にヘルメットがフィットしているか確認してください。



〈あごひもアジャスターの位置〉

あごひものバックルを留め、あごひもがしっかり顔の側面に沿うようにあごひもアジャスターの位置を調整してください。ヘルメットをかぶり、前後のあごひもの間(Aの部分)に耳が収まっていることを確認し、耳の部分の片方がたるんでいる、もしくはきつい場合、あごひもアジャスターを移動させて耳の周りのあごひもの長さを調整してください。

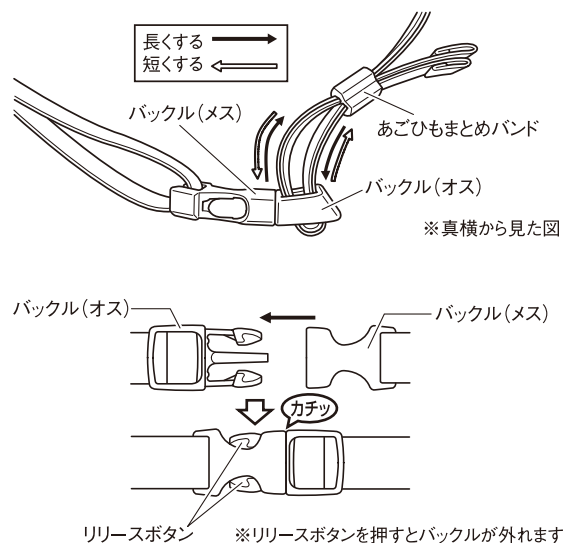


〈あごひもの調整方法〉

1. あごひもの長さを調整し、あごひもアジャスターを動かして耳及びあごの部分にあごひもがフィットするように調整してください。あごひもの長さは、バックルを留めたとき、あごとあごひもの間に人差し指1本入れられるあそびがある状態が適切です。あごひもまとめバンドの位置を動かし、余ったあごひもがばたつかないようにまとめてください。
2. 調整が終わりましたら、バックルで「カチッ」と音がするまで、あごひもをしっかりとつないでください。

⚠ 注意

バックルを留める際は、のどやあご、顔などを挟まないように注意してください。



SGマーク制度について

このヘルメットに付けられているSGマークは、製品安全協会が定めたSG基準に適合するとして認証されたヘルメットであることを示しています。ヘルメットを正しく使用中、製品の欠陥により、万が一ケガなどの人身事故が発生した場合にはSGマークの補償制度(対人賠償責任保険で購入日より3年間有効)の対象になります。ただし、次のような場合には補償制度が適用されませんのでご注意ください。



SG認証品

1. 特殊な使用

オートバイやサーカス及びプロ選手等の使用

2. 改造されたヘルメット

衝撃吸収ライナの取り外し、穴あけ、他物の取り付け、あごひも等の改造

3. SG基準が定める、ヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷

〈SGマークについてのお問い合わせ先〉

一般財団法人 製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2丁目20番2号 ミサワホームズ三ノ輪 2F

TEL 03-5808-3300(代表)

ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

お客様相談室

受付時間: 9:00 ~ 17:00

(土・日・祝日及び弊社指定休日は休み)

電話: ☎ 0120-72-1911

(国際電話・インターネット電話でのご利用はできません。)

made in CHINA

SP
20, G